課題対応取組報告書

【共通】

名称			玉出地	地域包括支	援センタ・	_	
提出日	令和	7	年	6	月	20	日

		□ 社会変活の制品 (日担ござ/6姓)						
カテゴリー	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	社会資源の創設(居場所づくり等)						
(※主なものをひとつチェック)	認知症高齢者等の支援	┃└│┃自立支援・介護予防・健康づくり等						
	その他(
活動テーマ	「明日の元気は出会いから」~「私らしい」暮らしを支えるまちづくり~							
地域ケア会議から 見えてきた課題	活動を通じて、相談のルートや見守り体制ができていた地域では、活動の担い手が高齢化し、従来の方法では、気になる高齢者の掘り起こしやアウトリーチが難しくなってきている。また課題を複数、複合的に抱えた世帯の増加と共に、制度横断的な対応を求められる、支援の長期化という傾向が見えた。							
対象	地域住民・ケアマネジャー・事例に関わった支援者・関係機関							
地域特性	営住宅を中心に課題が潜在化している。千	一方で単身高齢者の転入者が多く、地域との交流が希薄であり、特に市 ・本地区は築古の住宅や空き家が目立つが、地元住民の繋がりが残ってい ・、医療機関も近い。古くからの住民、いわゆる「地の人」が多く居住し、男						
活動目標	高齢者本人を軸として、家族、周辺の住民、地域の社会資源に目を向ける。本人にとって安心して、暮らし良いまちづくりをする為に連携を図る機関はどこか、繋がるべき人は誰か、利用者にとって「意義のある出会い」に繋げる事を職員全員が意識を持つ。							
活動内容 (具体的取組)	The supplemental of the su							
成果 (根拠となる資料等が あれば添付すること)	精神保健連携部会やつながる場での課題抽出と共有を重ねたこともあり、複合課題を抱えた世帯への支援がよりスムーズに、密に行えるようになった。南津守2丁目住宅へのアプローチにおいても連携が活かされた形となりつつある。玉出地域ではネットワーク委員との繋がりを通じて、事例の素早い発見と介入に奏功している。							
今後の課題	地域の担い手は高齢化する中、これまで築き上げた関係を次世代に繋げていけるか。様々な相談、支援のニーズに応えられるだけの対応力や組織力を高められかが課題と感じる。							
※以下は、区運営協議会事務局にて記入								
区地域包括支援センター 運営協議会開催日	令和	7年7月16日(水)						
専門性等の該当 (※該当個数は問わない)	☑ 地域性 ☑ 継続性	☑ 浸透性・拡張性 ☑ 専門性 ☑ 独自性						
評価できる項目(特性) についてのコメント *今後の取組継続に向けて、区地 域包括支援センター運営協議会か らの意見等を記載。	複合課題を抱える世帯が増える中、「つながる場」にて、子育て支援担当や障がい相談支援機関等と繋がり、連携して支援することが出来ており、地域住民が誰と出会えるか、「意義のある出会い」を意識し支援することを全後も期待している							